

## 産業建設委員協議会記録

開会年月日	令和4年6月6日
開会時刻	午前11時49分
閉会時刻	午後0時08分
出席委員名	◎上村和生    ○井村貴志    三野泰嗣    川口 浩
	北村 勝    野崎隆太    野口佳子    宿 典泰
	世古 明 議長
欠席委員名	なし
署名者	—
担当書記	森田晃司
協議案件	1 伊勢市下水道事業経営戦略の見直しについて《報告案件》
説明員	上下水道部長、上下水道部次長、上下水道総務課長、
	下水道建設課長、下水道施設管理課長、その他関係参与

## 協議経過

上村委員長が開会を宣告し、会議成立宣言の後、直ちに会議に入り、報告案件の「伊勢市下水道事業経営戦略の見直しについて」の報告を受け、質疑の後、協議会を閉会した。  
なお、詳細は以下のとおり。

開会 午前11時49分

### ◎上村和生委員長

ただいまから産業建設委員協議会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立しております。

本日御協議願います案件は、報告案件として「伊勢市下水道事業経営戦略の見直しについて」であります。

議事の進め方につきましては、委員長に御一任いただきたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

### ◎上村和生委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいさせていただきます。

## 【伊勢市下水道事業経営戦略の見直しについて《報告案件》】

### ◎上村和生委員長

それでは、報告案件の「伊勢市下水道事業経営戦略の見直しについて」当局からの報告をお願いします。

上下水道部長。

### ●成川上下水道部長

本日は大変御多用のところ、産業建設委員会に引き続き産業建設委員協議会を開催いただき、誠にありがとうございます。

本日の案件は、ただいま委員長から御案内がありましたとおり、「伊勢市下水道事業経営戦略の見直しについて」の報告案件が1件でございます。

詳細につきましては担当部署より御説明申し上げますので、よろしく願いいたします。

### ◎上村和生委員長

上下水道総務課長。

### ●中山上下水道総務課長

それでは、「伊勢市下水道事業経営戦略の見直しについて」、御報告申し上げます。

資料1-1を御覧ください。

始めに、1の「これまでの経過」についてですが、本件につきましては、下水道事業経営戦略を策定してから5年が経過しましたことから、これまでの実績を踏まえまして、投

資財政計画を中心とした見直しを行い、本年2月7日に開会の産業建設委員協議会におきまして、御協議いただいたものです。

その後、2月14日に伊勢市上下水道事業審議会にて御審議いただき、3月17日に「妥当と認める」との答申をいただきました。

資料の2ページに、その答申書の写しと、資料1-2として「下水道事業経営戦略」を添付しておりますので、後ほど御高覧いただきたいと思います。

資料1-1、1ページにお戻りください。

続きまして、2の「今後の予定」についてですが、見直した経営戦略に基づき事業を進め、本経営戦略の計画最終年度が令和8年度となっておりますことから、令和6年度から7年度にかけて見直しを行う予定でございます。

以上、「伊勢市下水道事業経営戦略の見直しについて」、御報告申し上げます。よろしくお願いたします。

◎上村和生委員長

本件は報告案件ではありますが、特に御発言がありましたらお願いをします。  
宿委員。

○宿典泰委員

2月14日に審議会があったということですが、この中で、意見というのはどのようなものがあつたのかちょっと教えてください。

◎上村和生委員長

上下水道総務課長。

●中山上下水道総務課長

主なものとして、人口減少の中での今後の事業の進め方や、繰入金についての考え方、そのほか、下水道使用料の考え方、あと令和9年度以降の資金不足への対応などの質疑がございました。以上です。

◎上村和生委員長

宿委員。

○宿典泰委員

そうしますと、それに対してどのような答弁されたのかちょっと教えてください。

◎上村和生委員長

上下水道総務課長。

●中山上下水道総務課長

まず人口減少の中での事業の進め方としては、「今後人口減少が現時点で起こって

おりますが、生産人口も減る中、一人一人の負担というものが大きくなっております。現時点では計画、令和8年度でございませうけれども、経費削減や事業区域の見直し、施設統廃合などを進めますけれども、今後それに向かって、今年度からでございませうけれども、将来の事業費、そのほか、その財源についてのシミュレーション等を行って将来に備えていきたいと考えております」との答弁をさせていただきました。

続きまして、繰入金についての考え方につきましては、「下水道事業につきましては、初期投資に多額の経費がかかりますので、初期に利用した方の負担が大きいことから、おおむね整備が完了するまでは現行の使用料を維持できるように、会計自体が資金不足にならないように、財政部局と協議しながら、市の政策判断で基準外の繰入れを行っている」との回答をしております。

もうあと2点ですけれども、下水道使用料の考え方につきましては、この中で、国のほうが将来の下水道の更新需要が高くなると見込まれる部分については、現行の使用料に上乘せするというような資産維持費というふうな考え方が国のほうから求められております。それについての伊勢市の回答を求められまして、それにつきましては「将来的に資産維持費という考え方を含めるとなれば、利用者に十分に御説明させていただかなければいけない」というふうに回答しております。

最後に、令和9年度以降の資金不足への対応につきましては、「現行、令和9年度以降は資金不足になっていくであろうと見込んでおります。その中で、繰入金の増額や、2月の協議会でもお話させていただきました、資本費平準化債の借入れ額の増額、そのほか使用料の改定等に対応することになるということ」で回答しております。以上でございます。

◎上村和生委員長  
宿委員。

○宿典泰委員

1点だけお願いしたいんですけれども、人口減少でいろんな使用料が減少していくということになるわけです。水道も同じかということに思うんですけれども、令和9年度以降ということで、予想するもこれもなかなか難しい話ではありますけれども、そういった令和9年度以降についての収支、また財源的な裏づけというものを加味しながら考えていくということになるわけですけれども、使用料の問題についても、今後、どのような場でどのように使用料の試算をしていくのか。資産維持費、そういったことがいくら上乘せになるのかとか、そういったもんはいつごろどのような形で発表されるのかちょっと教えてください。

◎上村和生委員長  
上下水道総務課長。

●中山上下水道総務課長

使用料の見込み、この計画についての見込みにつきましては現時点で、接続人口や、人口減少、あと1人当たりの節水の意識の中のそういった指標を基に将来的には見込んでお

りますけども、資産維持費とか、そういうふうな使用料の計算方式等の考え方につきましては、今年度からいろいろシミュレーションさせていただきまして、今回、今後の予定という中で、令和6年度、令和7年度に向けて、見直しに向けて、今後検討していきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。

◎上村和生委員長  
宿委員。

○宿典泰委員

いや結局は、下水道の使用料のことだけしておりますけれども、結局水道も同時に上がってくるような話ですよ。水道の事業費については今後あと20年先にどうなるかっていうのはもうシミュレーションが出ておりまして、実際のところは、その後、上がるというような状況のことを見ておるんですけれど、それを上げなくてもいいような方策というのを考えていこうやということが、これは、いろいろと議論をして、それと同じように、下水道も早くいろんな状況のことを打ち切ってやらないと、今までだったら100メートルで、30人ほど、50人ほどの接続人口があったけれどというところが、人口減少であり、高齢化であり、100メートル、本管に接続をするのが、もう3人程度や5人程度やっということになったら、収支が合わないというのは誰でも分かる話ですよ。だからそういうことをつくっていかないためにどのようにやっていくかということ、今現在やっていたきたいなということ、そのあたりの試算というのは、どのように考えてみえるのか教えてください。

◎上村和生委員長  
下水道建設課長。

●松田下水道建設課長

下水道の区域の見直しというようなことで答弁させていただきます。

御指摘のとおりやはり今後、人口減少もございます。あと、整備区域が中心から郊外へ進んでいくという中で、やはりコスト面、しっかり比較して検討していく必要があると思います。

今後、今年準備を始めまして、来年にお示しできるように計画の変更の見直しを進めてまいりたいと考えております。以上でございます。

◎上村和生委員長  
宿委員。

○宿典泰委員

やっぱりそのあたりは、ちょっと一般的な答弁をいただいたんかなと思うんですけれど、もっともっと現実には厳しい話ではないかなとこんなことを思うんです。

伊勢市のほうから財源として、負担金やら、そういったものがもう20億円ぐらいにな

るということは、皆さんから示していただいたこの収支計画の中にも出とるわけですよ。それで市民の方は、実際は、今まで18億円やったものが20億円になりましたってことは知らないわけなんですよ、ですよ。そんなことは余り知らない、知らないから、使用料金であったりとか賦課金であったりとか、資産維持費、そういったものがこうなりますんやって突然出されてそういうことになっても、市民としては困るわけですよ。今のお話、これから生活関連としては、燃料費等々も、もう13%以上になるやろうということが指標で出ておりますから、そうなると、生活の中で水道も上がる、下水道も上がるということがこれから予想されるということであれば、そうならない手だてというのもきちっとやらないと、今までのような答弁をして、「区域を分けて少なくしますよ」というようなことでは、僕としてはすごい甘い考え方と違うんかなとこんなことを思うんですよ。そのあたりは発注の問題も今までも指摘をしておりますけれど、どうなんかなと思いますけど、もう一度お答え願えませんか。

◎上村和生委員長

上下水道部長。

●成川上下水道部長

今回お示しさせていただきました経営戦略におきます財政収支計画においても、令和8年度には内部留保資金が年々減少して、もう数千万円程度にまで減っていくという中で、いかに健全経営を今後続けていくかというところで経費の削減、本当に力を入れていかなければいけないというふうに考えております。

そういった中で、一つは旧伊勢市において先行して整備をいたしました宇治中村地区の処理、これを宮川流域下水道への統合というようなところ、これも大きな経費削減につながるものと考えておりますので、そういったところを一つ一つ、今後も検討しながら健全経営に向けて努めていきたいと考えております。よろしく申し上げます。

◎上村和生委員長

宿委員。

○宿典泰委員

もう一点ですけれど、この収支計画を見せていただいていたんですけど、特段令和6、7年で見直しがどのようにやっていくんかなということが読み取れんというのが、平成29年の台風21号、その期にやはり勢田川としては流域の浸水対策ということで実行計画をやって、これはもう目に見えるような状況で進んでおります。

一方やはり、伊勢市の下水道で言われる汚水の部分はそんなことで、いろいろ課題はあるけれど、雨水についても、特段これ見せてもらったら、そんなに令和6、7年で見直しをしながらやるというような雰囲気はとれないんだけど、まだこんな状況で、これから令和6、7年見直しをして令和8年からそうしていくんかということなんですけど、そのあたりはどうでしょうか。

◎上村和生委員長

上下水道部長。

●成川上下水道部長

ちょっとお示しさせていただいた経営戦略の中ではなかなかちょっと詳しくは載っていないんですが、浸水対策についても当然、これまで大きな被害が起きておりますので力を入れていかなければいけない部分であると考えております。

具体的には今年度、黒瀬ポンプ場のポンプの増強、それから桧尻2号幹線、新たな排水路の整備、これは厚生学区になりますけども、桧尻川へつなげる新たな排水路の整備、そういったところに今後も力を入れていくと。これは勢田川流域等浸水対策実行計画に基づいて、計画を立てて取り組んでいくものでございますので、汚水・雨水ともに市民の生活環境の向上、また浸水被害の軽減に向けて力を入れていきたいと考えております。

◎上村和生委員長

宿委員。

○宿典泰委員

もう一遍すみません。この13ページ動力費に関することが出ております。

電力の自由化ということで、これから電力も自由化になって、随分動力源の軽減が図られるかなというようなことを思っておったんですけど、一方、自由化とともに新しく新規事業で起こされたところがもう破綻状態で、手を上げてきたというような話があるんですけど、こういうことを思うと、このあたりの入札を行い、経費削減に努めていますということが、今後どのような形になっていくのかなということを少し心配するんですけど、それいかがでしょうか。

◎上村和生委員長

下水道施設管理課長。

●森本下水道施設管理課長

ただいまの御質問にお答えいたします。

実のところ、この年度当初に新たな電力会社のほうとの次期の契約について、入札のほうを行ったところではございます。

しかしながら、参加していただく事業者のほうに不在という形になりまして、まだ現在、次期の電力契約のほうの業者の確認には至っておりません。

そこで電力事業者さんのほうと、意見のほうをいただきながら新たな入札を行うのか、再入札を行うのか、それとも、契約いただける電力会社のほうを今後ちょっとまた探させていただくのかというところで、現在検討している段階ではございますので、計画とは若干変わってくるようなこともあるかもしれませんが、努力をして取り組みたいと思っております。以上です。

◎上村和生委員長  
宿委員。

○宿典泰委員

努力だけでは無理やと思うんで、そうなると、この電力費の経費削減っていうのは、これはこのまま残していかがかなと思うので、検討をちょっとしてください。そのようにお願いをしたいと思います。

いずれにしても、ちょっとこの下水道のいろんなあれで見せていただくと、先ほど、答弁していただいたようなことで、大きくは本当に近々の問題だと思います。令和6、7年に見直しをかけるということですが、相当やはり違った視点からの見直しをしないと、もう令和8年度の収支っていうのは、また税金入れるんかいということになりますから、そのあたりを税金入れなくても、基準外ですわね、基準外のものを入れなくてもいいような状況っていうのは、もう目的としては目指してきたはずなんで、そのあたりはきちっと守っていただいてやるように頑張ってくださいと思います。

◎上村和生委員長

御発言よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎上村和生委員長

御発言もないようですので、本件につきましてはこの程度で終わります。

以上で本日御協議願います案件は終わりましたので、これをもちまして産業建設委員協議会を閉会いたします。

閉会 午後0時08分